

指定管理導入施設実績評価シート（令和3年度）

	施設所管課	都市計画部 公園緑地課
施設名	におの浜ふれあいスポーツセンター	
指定管理者	おおつdeウェルネス共同事業体	
指定期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 30日	
指定管理料	年額 39,977,000 円(令和 3年度)	(総額 122,517,000 円)
設置目的	子供から高齢者、または障害のある方々等の多くの市民が安全・安心に利用でき、体力の向上と健康づくりを図る場所として提供すること。	
業務内容	有料公園施設の使用許可または不許可を行う業務 公園施設を良好な状態に維持管理する業務 施設の適切な利用管理を行う業務	

所管課 総合評価	I~IVによる総合評価	総合評価コメント
	B	施設と代表団体において、資料のやり取りに多少のタイムラグが感じられるが、概ね適正な実施体制となっていた。新型コロナウイルスの影響も大きい中、利用者数も前年度より増加傾向であり、管理運営の内容や水準も大きな問題はないと思われる。 収支状況としては赤字が続いているものの、利用料収入は前年度より増加しており、経費も一定削減されている。新型コロナウイルスの影響で、障害者団体との事業も難航しているが、大きな問題もなく管理運営に努められていた。

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
施設の設置目的の達成 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	スポーツ施設の活用を通じて快適で安全な施設の提供および市民福祉に寄与し、地域社会の健全な発展を目的として施設の運営を行った。	B (良好)	施設の設置目的を理解した管理運営が行われた。
職員の勤務実績・配置状況・労働条件 <input type="checkbox"/> 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 <input type="checkbox"/> 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 <input type="checkbox"/> 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 <input type="checkbox"/> 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画に沿って職員を配置し、関連法令を遵守した労務管理を行った。おおつ「障害者の生活と労働」協議会より障がい者の就業希望者を紹介していただき、相談員のサポートの基、約2ヶ月に渡ってOJTと相談員とのMTを実施した。	B (良好)	事業計画に沿った職員配置が行われ、障害者の就業体験も行われた。
職員の研修 <input type="checkbox"/> 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	コロナ禍の影響から人数を集めての研修が計画できないので、OJT研修、教育を行った。トレーニング室用にトレーニングに関する資料を作成し担当するスタッフに配布した。	B (良好)	新型コロナウイルスの影響もあったものの、職員の教育を行うためにOJT研修の実施や、施設・教室の担当者用資料を作成、配布が行われた。
法令等遵守 <input type="checkbox"/> 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	随時関係法令等の確認を行うよう努め法令遵守した。	B (良好)	関係法令等は遵守され、特に問題はなかった。
個人情報保護・情報公開 <input type="checkbox"/> 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法(実地調査)	B (良好)	協定書に基づき、弊社個人情報保護マニュアルに沿って適切に取り扱った。	B (良好)	個人情報保護マニュアルを作成し、職員に周知して個人情報などを適切に取り扱った。
管理記録 <input type="checkbox"/> 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 <input type="checkbox"/> 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	日常業務としてプール管理日誌、設備点検業務日誌(点検・修理)を作成しファイリング、点検結果報告は月次報告にて添付資料として提出した。	B (良好)	管理日誌や設備点検日誌は適切にファイリングされており、当課へも月次資料の添付資料として提出がなされた。
連絡体制 <input type="checkbox"/> 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 <input type="checkbox"/> 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	日常の連絡体制に加え、共同事業体内で定例会議を実施。担当課との連絡調整も随時行った。	B (良好)	施設と代表団体の間において少しタイムラグがあると感じられるが、指定管理者間においては定例会議などにより連絡調整されていた。
緊急時対応 <input type="checkbox"/> 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 <input type="checkbox"/> 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	施設各所に連絡網、緊急事態発生時のフローチャート、CPR実施方法を掲示した。	B (良好)	施設の連絡網や緊急時のフローチャートなどを職員間に周知されていた。
《I 総括》	業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設8項目】	B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和3年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 <input type="checkbox"/> 開館日、開館時間を遵守していたか。 <input type="checkbox"/> 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館日・開館時間を遵守した。施設設備を含め日々の巡回による事故防止に努めた。	B (良好)	開館時間等は巡視されており、日々巡回などにより事故防止に努められていた。
	利用状況 <input type="checkbox"/> 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	施設休館はあったが、その他の期間の利用状況はアリーナ、プール、トレーニング室とも前年同時期と同等であった。	B (良好)	施設の閉館があり、新型コロナの影響も大きく残っている中で、トレーニング室を除いたプールやアリーナ、会議室の利用人数は前年度を上回っていた。
	利用者対応 <input type="checkbox"/> 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 <input type="checkbox"/> 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 <input type="checkbox"/> 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	業務ノートを活用し共有してスタッフ全員が同じ対応ができるようにした。服装は、ユニフォームを統一し言葉遣い、接遇は適切に行った。体育館の設備、備品等は適切に提供できた。	B (良好)	利用許可や案内など適切であり、服装や言葉使いなどの接遇も適切にされていた。
	業務運営(全体) <input type="checkbox"/> 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	コロナの状況を確認しながら水泳短期教室、スキーキャンプ等、子供向けイベントの企画を進めた。	B (良好)	新型コロナの影響を受けながらも事業計画に沿って事業を実施し、自主事業による積極的な利用促進が行われていた。
	自主事業運営 <input type="checkbox"/> 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 <input type="checkbox"/> 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	子供から高齢者までどなたでも参加できる自主事業を実施した。1回体験利用を促し、教室の内容雰囲気を感じていただき今後の利用を促すことにより、特に高齢者の方々に安心して新たにスポーツを始め続けるきっかけ作りをした。	B (良好)	体験利用を促し、教室等の内容や雰囲気を感じてもらうことにより今後の利用を促し、また、特に高齢者に安心して新たなスポーツを始め続けるきっかけ作りとされていた。
	維持管理 <input type="checkbox"/> 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 <input type="checkbox"/> 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 <input type="checkbox"/> 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 <input type="checkbox"/> 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 <input type="checkbox"/> 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	電気設備保安、昇降機設備保守、給湯設備保守、自動ドア保守点検、空調設備(GHP)保守点検を行った。日常の清掃、保安警備、植栽、除草等の維持管理は計画通り行った。備品は台帳に基づき管理した。	B (良好)	施設等の保守管理は適切に実施された。また、日常の清掃なども適切に実施され、維持管理に大きな問題はなかった。
	情報提供 <input type="checkbox"/> 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 <input type="checkbox"/> ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	各施設ごとの利用案内と各教室の案内を作成した。大津市公共施設管理システムにてアリーナ・会議室の予約状況の確認運用している。ホームページにて各種案内を発信した。	B (良好)	各施設や教室ごとの利用案内を作成し、利用者への周知を図った。また、ホームページにも各種案内を掲載し情報発信が行われていた。
	環境配慮 <input type="checkbox"/> 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	コピー用紙の裏紙の使用やボイラー、換気扇、照明等タイマーの調整を行い省エネルギー等環境に配慮して管理した。日々の水光熱検針管理を徹底した。	B (良好)	裏紙の再利用をしたり、ボイラー、照明等のタイマーの調整などによる日々の光熱水費管理によるエネルギーの省力化を図り、環境への配慮が行われていた。
	意見・要望・苦情 <input type="checkbox"/> 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 <input type="checkbox"/> 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	施設毎の業務ノートを活用し、全スタッフが同じ内容を共有できるようにした。要望・苦情があればその場ですぐに対応した。	B (良好)	施設ごとの業務ノートを作成し、担当スタッフが情報を共有できるようにしていた。
	利用者アンケート <input type="checkbox"/> 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	常時アンケートを回収した。すぐに対応が必要な案件に対しては、スタッフを集め対応を協議し実行に移した。	B (良好)	常時アンケート用紙を設置、回収し、アンケート内容はスタッフ間で共有し、協議結果を反映していた。
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準10項目/当施設10項目】			B (良好)		B (良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 <input type="checkbox"/> 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 <input type="checkbox"/> 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 <input type="checkbox"/> 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	釣銭等の現金は金庫に収納し、施錠を行い、その施錠したカギは施設責任者が管理を行った。売上は専用口座に適宜入金し、利用料金徴収、減免申請は、複数人で確認処理を行った。	B (良好)	現金は金庫で管理し、適宜専用口座に入金していた。また、利用料金徴収や減免申請は複数人で処理が行われていた。
	収支状況 <input type="checkbox"/> 予算と決算に大幅な相違がなく、収入一支出はプラスとなっているか。 <input type="checkbox"/> 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	コロナの影響を加味した期首予測に対しては順調に推移した。	B (良好)	新型コロナの影響を受けながらも前年度より収支は改善されていた。
	経費節減の取組 <input type="checkbox"/> 経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか。 <input type="checkbox"/> 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	ボイラー、換気扇、照明等タイマー設定の見直し、日々の水光熱検針管理で無駄をなくしているが、3期における水光熱への単価上昇により削減分を超え水光熱費は上昇した。	B (良好)	常時ボイラーや照明等のタイマー設定を調整し、日々の光熱水費の削減及び管理を行うことで、光熱水費の削減や増加の抑制が行われていた。
《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目/当施設3項目】			B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和3年度）

IV その他 （独自）	その他 <input type="checkbox"/> 努力事項として掲げた『障がい者団体との交流イベントを協議していく。』の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	毎月実施している天津市障がい者デイサービスの卓球教室、知的障害者地域生活支援センター主催のレクリエーションは実施した。	B (良好)	新型コロナの影響により中止となったイベントもあったが、障がい者団体の教室やレクリエーションは行われた。
《IV総括》		その他に関する評価【当施設1項目】		B (良好)		B (良好)

主な成果 (全体)	使用料(利用料)	目標	20,430,000 円	⇒	実績	22,160,440 円
	稼働率	目標	88 %	⇒	実績	82 %
	利用者数	目標	37,000 人	⇒	実績	63,420 人
	【指定管理者コメント】 今年度も緊急事態宣言を受けての休館があり、自主事業収入がない月があった。休館したことによる一般利用者の利用習慣の停滞や公共の場所での活動に不安を持ってられる方々が戻っていない状況である。コロナ禍での運営も2年目に入り、利用者の入館時の健康チェックシートの記入、アルコール消毒並びにマスク着用が徹底され、スタッフによる消毒作業も日常業務に組み込まれた。11月より天津市から提供を受けた非接触式検知器サーモマネージャーを設置し利用した。					
【施設所管課コメント】 緊急事態宣言による施設の臨時休館など、新型コロナの影響もある中で利用者数や利用料金の増額を達成している。クラスターの発生もなく、新型コロナの感染拡大防止についても注意を払っている。						

自主事業 実施による 成果	<主な自主事業の実施状況>				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	プール成人教室	自主事業	におの浜ふれあいスポーツセンターで水の抵抗を利用したプールでの機能改善教室、4泳法修得の水泳教室を開催(月会費制)	実施	
	アリーナ・スタジオ成人教室	自主事業	におの浜ふれあいスポーツセンターの体育館・会議室でのヨガ・ピラティス教室や楽しみながら技術の習得と体力向上を目的とした卓球教室やバドミントン教室を開催(月会費制)	実施	
	子ども向け運動教室	自主事業	におの浜ふれあいスポーツセンターで安全思想と技術の習得と発育・発達に合わせた水泳教室や保護者からのニーズの高いダンスや体育教室、地元滋賀レイクスターズによるバスケットボール教室を開催(月会費制)	実施	
	イベント教室	自主事業	野外活動施設などで様々なイベントを提供し、はじめての利用される方のきっかけから継続利用につなげるイベントや夏期・春期に水泳短期教室を開催	実施	
	物販事業	自主事業	におの浜ふれあいスポーツセンターで水分補給の自動販売機設置や水着、スイムキャップなど施設利用に必要な運動用品の販売を実施	実施	
【指定管理者コメント】 自主事業の運動教室は、どのコースも定員近くの参加を頂けた。子供水泳教室も設定しているコーチ一人当たりの受講者数に達しており、入会を待っていた状態である。子ども対象のプログラムでは、更衣室を成人利用者と切り離し、教室ではスタッフは常時マスクを着用した。第一に安全・安心な運動施設を提供することを全スタッフが心掛けた。					
【施設所管課コメント】 新規利用者やリピーターの確保を目的とした自主事業が功を奏した結果、利用者数や利用料金の増加など管理事業にも好影響を与えていると思われる。また、自主事業に関する収支は黒字であり、昨年度よりも増加している。					

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】 現状の利用状況は、コロナ感染に不安を持ってられる方が利用を再開できる状況には程遠い為、利用者数の増加には至っていない。施設自体の老朽化が激しく、躯体の修繕の必要がさらに増えてきております。照明に関して、水銀灯を使っている箇所(体育館・プール・ロビー・駐車場)の電球切れに対して、水銀灯が生産されないため対応が出来なくなります。特に体育館では、9月に起こったように水銀灯を下に降ろすオートリフターに不安がある為、足場を組まなければ安全に交換作業が行えない状態となっております。
	【施設所管課コメント】 施設の老朽化による修繕箇所が増えてきている。点検や巡回など適切に行われていたため、新規の修繕箇所は早期発見となっているものもあった。

特記事項等	令和4年4月からは都市公園と一体的な管理へ変更となる。
--------------	-----------------------------

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A~D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

➡

所管課評価

➡

指定管理者

➡

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)

送付